2022 fiscal year
No.356　2023年1月1日 発刊

The Ehime Association of Small Business Entrepreneurs

Ehime Doyu

2023
1

目次

代表理事挨拶 ・・・・・・・・・・・・ 2
愛媛県知事挨拶・・・・・・・・・・ 3
松山市長挨拶 ・・・・・・・・・・・・ 4
四国中央市長挨拶 ・・・・・・・・・ 5
今治市長挨拶 ・・・・・・・・・・・・ 6
東温市長挨拶 ・・・・・・・・・・・・ 7
伊予市長挨拶 ・・・・・・・・・・・・ 8
松前町長挨拶 ・・・・・・・・・・・・ 9
松山支部第１地区会例会／
松山支部第２地区会例会・・・ 10
松山支部第３地区会例会／
四国中央支部例会 ・・・・・・・ 11
今治支部例会／
伊予・松前支部例会・・・・・・ 12
吟行句会ライブ・・・・・・・・・ 13
DX学習会報告 ・・・・・・・・・・ 14
同友会名簿アプリ ・・・・・・・ 15
同友会で俳友会・・・・・・・・・ 16
会員掲示板・・・・・・・・・・・・・ 17
理事会議事録 ・・・・・・・・・・・ 18

※愛媛同友会では現在、全ての会合において、必ずマスクを着用して参加いただいています。掲載している写真のうち、マスクを着用していないものは、撮影用に一時的に外していただいたものです。

発行：愛媛県中小企業家同友会
編集：広報情報化委員会

［今月の表紙］藁のウサギ（西予市宇和町窪地区）
［撮　影　者］中道 昇さん

愛媛県中小企業家同友会
〒790-0003　松山市三番町 1-11-10 ISSEI ビル 301　TEL (089) 948-9920　FAX (089) 948-9931　http://ehime.doyu.jp

新年の御挨拶

愛媛同友会代表理事
田中　正志

新年あけましておめでとうございます。

３年余り続く新型コロナウィルスやウクライナ情勢の影響は、社会情勢に大きな変化をもたらしました。あらゆる物資の高騰・円安の進行・人口減少・少子高齢化など問題は山積みです。しかしながら、ピンチはチャンスととらえ、いかなる状況においても前向きに前進していくことが同友会の姿勢です。我々中小企業経営者が、地域の中核となり、地域全体で持続可能な地域を実現するために、共に知恵を出し合って行動に移していきましょう。経営者として雇用を守るために「長期有効」「重点集中」「全体最適」の視点を持ち続けましょう。そして、顧客の要求にこたえ続け、対応力を磨き、未来を創っていきましょう。会員同士が経験と知識を交流して、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に必要な総合的な能力を身につけることを目指しましょう。

来る 2025 年に愛媛で開催される中小企業問題全国研究集会に向けて、一致団結して盛り上げていきましょう。

新年の御挨拶

愛媛同友会代表理事
米田　順哉

あけましておめでとうございます。

新型コロナウイルスの感染拡大、資源・エネルギー等の高騰、円安と中小企業にとって相変わらず厳しい外部環境が続いています。その中で明るい話題は、コロナ軽症者用の経口薬が承認され、愛媛同友会が国政に対して訴えてきた感染症法上の位置付けを２類相当から５類に変更するという議論も本格化してきたことです。ウイズ・コロナからアフター・コロナへのフェーズ転換がいよいよ近付いてきた感じがいたします。

しかし、丸３年間続いたコロナの感染拡大により消費者の行動変容は明らかです。ビフォー・コロナとは異なるアフター・コロナ時代の経営を確立する必要があり、今こそ労使見解の精神に基づく経営指針成文化とその全面的な実践が必要とされています。そしてその輪を地域に広げていかなければなりません。

私の夢は、【愛媛同友会が 1,000 名会員の同友会になる】ことです。労使見解を経営実践する企業が 1,000 社になれば間違いなく地域が、愛媛が変わります。今年の経営フォーラムも 2025 年の中小企業問題全国研究集会 in 愛媛も愛媛同友会が 1,000 名同友会になるための通過点にしたいのです。会員の皆さん、力を貸してください。夢を夢で終わらせない力強い一歩を共に踏み出しましょう。

新年の御挨拶

愛媛県知事
中村　時広

令和５年の年頭に当たり、謹んで新春のお喜びを申し上げます。愛媛県中小企業家同友会におかれましては、「良い会社、良い経営者、良い経営環境」の実現を目指し、中小企業の自立・発展につながるさまざまな取り組みに力を注がれますとともに、小中学校へのキャリア教育講師派遣による子どもたちの健全な職業観や勤労観の醸成といった活動にも御尽力をいただくなど、本県経済の振興と地域の活性化に多大な御貢献を賜っており、深く敬意を表します。

さて、昨年の県知事選挙において、県民の皆様の負託を受け、引き続き、県政のかじ取り役を担わせていただくことになりました。

現在、長引くコロナ禍に加え、ロシアのウクライナ侵略による国際情勢の不安定化、急激な為替相場の変動によるエネルギー価格、物価の高騰など、大きな変動要因が新たな課題として私たちの前に立ちふさがっています。また、想定以上のスピードで進む人口減少、デジタル化の進展にも速やかに対応していかなければなりません。

今任期は、こうした変動要因との対峙という新たな段階に足を踏み入れることから、県政の新ステージと位置付けており、政策の３本柱である「西日本豪雨災害からの復興と防災・減災対策」「人口減少対策」「地域経済の活性化」に加えて、現下の社会情勢に対応するための新基軸として「新型コロナウイルス対策」「デジタル技術の活用」を掲げ、ふるさと愛媛の発展に全力を挙げて参ります。

とりわけ、地域経済の活性化については、引き続き、営業本部を中心に、事業者の補助エンジンとして、国内外での販路開拓に取り組むなど、実需の創出に徹底的にこだわっていくほか、アジアの成長を取り込むべく県内企業の海外展開を積極的に支援していくこととしております。

更に、喫緊の課題である人口減少対策につきましては、昨年 10 月に、「えひめ人口減少対策重点戦略」を打ち出しました。今後、本県の活力を維持し、一層の成長を図っていくため、企業・事業者の皆様と行政が協働して、若者が愛媛で就職し、結婚・出産の希望をかなえ、仕事と育児の両立ができる環境の整備に力を注いでいく所存です。

どうか皆様方には、これらの施策に御理解をいただきますとともに、今後とも、業種をこえたネットワークや中小企業ならではのフットワークを生かし、本県産業の振興と「愛顔（えがお）あふれる愛媛づくり」にお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、愛媛県中小企業家同友会のますますの御発展と、皆様方の今年一年の御健勝、御活躍を心からお祈り申し上げます。

新年の御挨拶

松山市長
野志 克仁

明けましておめでとうございます。皆様には輝かしい新春をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

旧年中は、様々な経済施策をはじめ、松山市政に特別のご支援とご協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

愛媛県中小企業家同友会の皆様は、企業づくり、地域づくり、同友会づくりを３つの柱に、人をいかす経営を実践する企業を目指しながら、地域社会とともに歩む企業づくりをされており、深く敬意を表します。

また、このコロナ禍で「一社もつぶさない」という気概のもと、企業を存続させるため、「雇用を守ろう」「会員同士、声をかけあおう」「悪徳商人にならない」を呼び掛けておられます。加えて、2003 年から継続して景況調査「EDOR」を実施し、四半期ごとに中小企業の景況感を詳細に捉え、刻々と変化する昨今の経済情勢に対応しながら地域社会をリードする企業づくりを進められています。皆様の今後のご活躍を大いに期待しています。

松山市ではこれまで、感染症で影響を受けた企業を支援するため、無利子、信用保証料なしの融資制度をはじめ、原油価格や原材料が高騰する中、新しいビジネスに挑戦する企業を支援する補助金を創設したり、国の事業再構築補助金へ市独自で上乗せしたりするほか、経営者の育成を支援するなど、知恵と工夫で前向きにチャレンジする事業者を全力で支えてきました。

コロナ禍で影響を受けた地域経済を立て直すには特に、経済と雇用への対策が重要と考え、経済の活性化と雇用環境の整備を柱の１つに位置づけています。ウィズコロナ、アフターコロナを見据え、貴会や関係機関と緊密に連携し、中小企業のデジタル化や収益力向上で企業価値を飛躍的に成長させるとともに、インバウンドをはじめ観光産業を活性化します。

そしてこれからも、「より優しく より強い まつやまへ ～一人でも多くの人を笑顔に～」の実現に向け、全力で取り組んでいきますので、皆様には一層のお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

結びに、愛媛県中小企業家同友会のますますのご発展と、皆様のご健勝、ご多幸を心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶とします。

新年の御挨拶

四国中央市長
篠原　実

新年明けましておめでとうございます。愛媛県中小企業家同友会の皆様におかれましては、健やかな新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

旧年中は、四国中央市政にひとかたならぬお力添えと地域経済の振興に多大なるご貢献をいただきまして心からお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、国内経済は、新型コロナウイルスの影響による経済活動の停滞とロシアのウクライナ侵攻に円安が追い打ちをかける形となり、急激な燃油価格の高騰と物価上昇に見舞われました。その一方で、世界中でウクライナ支援の輪が広がるなど、平和を願う人々の心のぬくもりが感じられた面もあり、一日も早い事態の終息と平和の到来を願うものであります。

こうした国内経済を取り巻く環境は、製造業を中心とした市内企業に大きな打撃を与えており、当市では、“日本一の紙のまち”を物流面で支える貨物運送事業者等への支援や雇用調整助成金の上乗せ助成である緊急地域雇用維持助成金、市内の消費を喚起、下支えするプレミアム付商品券事業の継続実施に加え、ポストコロナの中心的施策となる地域経済支援事業を創設し、順次メニューを拡大しているところです。また、脱炭素社会を目指すカーボンニュートラル協議への参画や持続可能な開発目標の達成に向けたSDGs推進プラットフォームの設立等、関係機関や企業との連携を強化することで地域の課題解決に向けても取り組んでいるところでございます。

本市は来春、市制20周年を迎えます。依然として新型コロナウイルスへの警戒が続いておりますが、ポストコロナに向けて各地で行事が再開され、少しずつですが地域に活気と潤いが戻りつつあるように感じております。市制発足の節目を目前に控え、日常の喜びを感じながら、地域の絆をより一層深められるよう、地域経済と雇用を支える中小企業の繁栄とそこで働くすべての人の幸せのために全力で取り組んでまいりますので、どうか皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、愛媛県中小企業家同友会のますますのご発展と、皆様のご健康、ご多幸を心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

新年の御挨拶

今治市長
徳永　繁樹

新年明けましておめでとうございます。愛媛県中小企業家同友会の皆様方におかれましては、健やかな新春をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。また、日頃より地域経済の発展に多大なるご支援、ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルスの感染拡大や、社会情勢に起因する物価高騰により、事業者の皆様におかれましては、大変ご苦労の多い一年であったかと存じます。地域の声なき声をしっかりと汲み上げ、真にお困りのところにくまなく政治の光が行き届くよう、本市におきましても、原油価格や物価の高騰に直面する地域の経済・雇用の継続と強化を図るため、省エネ設備への更新等の課題解決に資する設備投資を行う市内企業の取組を支援する「サステナブル・リカバリー支援事業費補助金」や、新しい生活様式として推進してきたキャッシュレス決済を活用し、物価高騰の影響を受ける消費者や事業者を支援する「今治キャッシュレスキャンペーン」など、様々な施策を打ち出してまいりました。市民生活の維持と事業活動の継続をしっかりと支援し、皆様と共に今後も全力で取り組んでまいります。

昨年、今治港は開港 100 周年を迎え、海や港と共に発展を遂げてきた海事都市今治を彩る様々な記念イベントを開催いたしました。「みなとフェスティバル100」では、航空自衛隊「ブルーインパルス」の展示飛行、「帆船みらいへ」の体験航海など、2 日間で約 25 万人にご来場いただき、大きな賑わいを創出することができました。また、四国初開催となった「今治クリテリウム」や、4 年ぶりの開催となった「サイクリングしまなみ 2022」においては、市民の皆様のおもてなしや沿道での声援が大会を支え、感動を届けました。さらには、今治港を交流と経済循環の拠点とするべく、毎月第 2・第 4 日曜日に、獲れたての魚や、地元産の新鮮な野菜、タオルや菓子など選りすぐりの今治産品が揃った「せとうちみなとマルシェ」を定期開催しております。

こうした賑わいを一過性のもので終わらせるのではなく、いかに次につなげていくかという視点を持って、さらなる賑わいの創出に取り組むとともに、その効果を市内外へと波及させていくことを目指してまいりますので、愛媛県中小企業同友会の皆様におかれましては、引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、愛媛県中小企業家同友会のますますのご発展と、皆様方のご健勝、ご活躍を心からお祈り申し上げまして新年のご挨拶といたします。

新年の御挨拶

東温市長
加藤　章

明けましておめでとうございます。謹んで新春のお喜びを申し上げます。愛媛県中小企業家同友会の皆様方におかれましては、日頃から地域経済の振興はもとより、東温市政の推進に多大なご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が緩和されつつあるものの、国民生活や経済への影響は依然として続いていることに加え、ウクライナ情勢をめぐり、国民生活や経済活動に不可欠な物資の安定供給が滞るなど、世界規模で不確実性が高まっており、社会経済活動の回復への足取りが大きく阻害されかねない状況となっております。

このような中、本市では、東温市中小零細企業振興基本条例に基づき、従来から補助事業や融資制度など支援に努めておりますが、さらに、感染症対策として様々な支援を実施して参りました。

今年度の本市の独自事業としまして、前向きな取組や投資に対して補助を行う「まるごと応援補助金」に加え、感染症の影響を受けながらも既存事業の効率化や、業態転換への挑戦に対して、通常よりも補助率や補助上限額を引き上げた「まるごと応援補助金（コロナ臨時分）」の創設や、県市連携で「地域消費活性化商品券（プレミアムいのとんチケット）」を発行するなど、with、after コロナを見据えた支援に取り組んでいるところであります。

また、“東温らしさ”をコンセプトとした魅力ある商品「SAKURA select（さくらセレクト）」の販路拡大においては、県内外への営業活動を行っておりますが、引き続き、感染症の動向に注視しながら、市内中小零細企業の販路拡大の一助となるよう、積極的にトップセールスに取り組みたいと考えております。

さらに、今年度は『中小零細企業現状把握調査』を実施しており、市内の中小零細企業の状況を正確に把握するとともに、効果的な施策を東温市中小零細企業振興基本条例による円卓会議において検討することにより、市内中小零細企業者に寄り添った支援体制を整えて参ります。なお、調査の報告を兼ねたシンポジウムを本年２月に開催することとしておりますので、中小企業家同友会の皆様にもぜひご参加いただきたく存じます。

本年も、中小零細企業を応援するための様々な事業に継続的に取り組むとともに、エコノミックガーデニングの考えのもと、地域と共に中小零細企業の皆様に頑張っていただける経済環境を整えたいと考えておりますので、今後とも皆様方のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、愛媛県中小企業家同友会のますますのご発展と、皆様方のご健勝、ご活躍を心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

新年の御挨拶

伊予市長
武智　邦典

新年、明けましておめでとうございます。愛媛県中小企業家同友会の皆様方におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げますとともに、平素より市政各般にわたり御支援、御厚情を賜り、厚くお礼申し上げます。

また、日頃から中小企業の振興はもとより、新型コロナウイルス感染症対策に係る事業者支援に対しましても、格別のお力添えをいただき、深く敬意を表します。

さて、昨年は新型コロナウイルス感染症の影響に加え、不安定な社会情勢による物価高騰等により、幅広い業種、数多くの事業者が多大な影響を受けている状況であります。そのような中、本市では一日も早く地域に活力を取り戻してもらうため、中小企業者等への応援金の支給、観光誘客事業の実施など様々な経済支援対策を実施するとともに、市内宿泊施設利用促進事業やキャッシュレス決済プレミアム還元事業など、景気浮揚策にも精力的に取り組んでまいりました。

市内各地域に目を向けてみますと、新型コロナウイルス感染症に係る規制の緩和により、伊予彩まつりをはじめとするイベントが３年ぶりに開催され、少しずつですが、以前の賑わいを取り戻しつつあると実感しています。また、コロナの規制緩和に乗じて、鉄道や自転車、高速道路を生かした交流人口拡大を図っているところです。

さて、「2020 年国勢調査等に基づく将来推計人口について」によりますと、2060 年には本市の人口は約半数になるとの推計が出ております。人口減少問題は本市が乗り越えなければならない最も重要な課題であります。課題解決のため、若者、現役世代が生き生きと働けるまちを目指して、産業の振興、中心商店街の再生、創業支援施策の実施のほか、各地域の地域資源を通した魅力発進に取り組む所存であります。

将来像である「まち、ひと ともに育ち輝く伊予市」の実現に向け、「即現場、即対応。動けば変わる。伊予市の明日」の基本姿勢のもと「３万人が住み続けられる伊予市」、「誰一人取り残さない伊予市」を目指し、市政運営に全力で努めてまいる所存ですので、皆様方におかれましては、なお一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、愛媛県中小企業家同友会のますますの御発展と、皆様方の御健勝、御活躍を心からお祈り申し上げまして、新年の御挨拶といたします。

新年の御挨拶

松前町長
岡本　靖

令和５年の年頭に当たり、謹んで新春のお喜びを申し上げます。

愛媛県中小企業家同友会の皆様におかれましては、松前町政の各般にわたり御理解と御協力を賜りますとともに、地域経済の発展に多大なる御貢献をいただいておりまして、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は、継続するコロナ禍に加え、ロシアのウクライナ侵攻により地政学的なリスクが高まる中、欧米諸国における大幅な政策金利の引上げに伴い急速な円安が進行し、日本経済を取り巻く環境は非常に不透明なものとなりました。また、国内においては、それらの複合的な影響により、電気・ガスなどのエネルギーを始め食料品など、様々な価格がこれまでにないスピードで上昇しました。

このような状況から、本町においては、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用してプレミアム付き商品券を発行し、生活者支援・消費喚起を行ったほか、町内の幅広い業態・業種の事業者を対象とする物価高騰対策支援を行い、町内事業者の事業継続を支援しているところであり、今後も同交付金等を活用して、引き続き有効な支援を行ってまいりたいと考えています。

さて、今年は２期目最後の年となります。２期目総仕上げの年として、重要事項である「災害対策」、「健康づくり」、「保育の受皿確保」、「土地利用の検討」などについて引き続き注力し、「生きる喜びあふれるまち まさき」の実現に全力で取り組んでまいりますので、引き続き一層の御支援、御指導を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、愛媛県中小企業家同友会のますますの御発展と、皆様の御健勝、御多幸をお祈り申し上げ、年頭の挨拶といたします。

松山支部第１地区会11月ハイブリッド例会

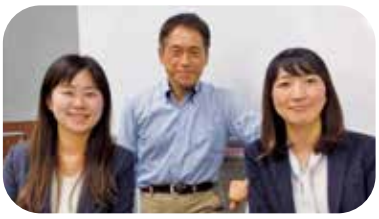
社員さんが主役の会社づくり

～ 真のパートナーになるために ～

◆ 講　師：**馬場 友加吏** 氏　㈱フェローシステム 取締役　採用・人財育成担当
　　平野 瑞稀 氏　㈱フェローシステム 放課後等デイ所長
◆ 日　時：11 月 9 日（水）18：30 ～ 21：00
◆ 会　場：一番町ホール・Zoom
◆ 参加者：54 名

座長をつとめました松山支部第１地区会の㈲矢野商事の矢野です。経営理念に基づく採用、人材育成の取り組みを学び、入社後の社員さんの成長、葛藤から、会社が目指していることと社員さんが感じている思いは一致しているのか感じていただける例会を目指しました。

講師は馬場さん、平野さんです（※お二人は会員でないため講師と表記しています）。馬場さんの報告では、新代表取締役の中田さんのもとでの採用面接の仕組み改革の具体事例を学ばせていただきました。採用面接で特に大切にしていることは、「本当にフェローがその人にとって最良の就職先かを一緒に考える」とのこと。具体的な採用インターンカリキュラムについては、馬場さんから遠慮なくお問い合わせくださいとのことです。人財育成については、入社後も相互理解を大切にし、社員さんを信じて任せる、社員さんの自己実現をかなえる会社を目指しています。


左から平野さん、矢野さん、馬場さん

後半は入社５年目の平野さんの実践報告です。フェローとの出会いは 20 歳の時の大学インターン、当時チャイルド・ライフ・スペシャリストの資格取得を目指していましたが不合格。次のチャレンジに向けてフェローで契約社員となります。病気を抱える子供たちと家族を支える仕事がしたいという夢は病院だけではなくフェローでも実現できると思いが変化しました。自分のやりたいことを応援してもらい、夢を大きくしてもらったフェローで夢を実現したい、2019 年正社員の道を選ぶことになりました。2020 年、役職者としての挑戦が始まります。不安もありましたが夢をかなえるための経験になると一歩踏み出しました。入社５年、今感じる喜び、難しさに真摯に向き合うなか、働き続けられる原動力は悩んでいたら励ましてくれる、困った時には力を貸してくれる、自分に期待し、応援してくれる「仲間の存在」と語る平野さん。

フェローの理念は平野さんに承継され、平野さんによって今後入社する新たな「仲間」に承継されていくと確信した例会でした。

寄稿：矢野 宏道さん
（㈲矢野商事／松山支部第１地区会）

松山支部第２地区会11月ハイブリッド例会

現代版坂本龍馬⁉のＶＵＣＡ時代の奮闘記

～ コロナ禍創業と学生コミュニティから学んだこれからの経営 ～

◆ 報告者：**西村 友祐** 氏
　　合同会社 EIS 代表／愛媛同友会 伊予松前支部・求人教育委員
◆ 日　時：11 月 16 日（水）18：30 ～ 21：00
◆ 会　場：一番町ホール・Zoom
◆ 参加者：26 名

報告者の西村友祐さん

松山支部第２地区会 11 月例会は、合同会社 EIS 代表の西村友祐さんにご報告頂き、起業への想い、コロナ禍の経営、新卒採用の課題、共同採用・共同求人の先進性についてお話下さいました。高知の梼原町で育ち坂本龍馬と同じく高知を離れ、2019 年コロナ禍のど真ん中で愛媛の地で合同会社 EIS を創業された西村さん。前身である学習塾の経営を通し大学生と企業の声を聴く中で「学生側は就活が不安、企業側は学生に出会えない」ということに気が付き、大学生とのコミュニティを作ろう！という想いに至りました。コロナ禍の経営では失敗からの学びが多かったというお話の中では、その業界やユーザーの生の声を集めたり、新社会人の仕事に就く際の働く理由・動機を突き詰めていったり、とにかく歩みを止めずアクションし続ける西村さんの姿勢が印象的でした。

今の愛媛の大学生の実態については、主な連絡ツールが電話や LINE でなくインスタグラムのダイレクトメッセージに移行しつつあることや、進学や就職について保守的な傾向であることと、コロナ禍で対面のコミュニケーションが希薄になりがちな一方でオンラインでは繋がりを多く求めていることが挙げられ、新卒採用の糸口が掴めるかも！と参加された皆さんは特に関心が高かったように思います。共同求人・共同採用の側面は改めて同友会運動の良さを浮き彫りにしていく中で、企業と学生 1:1 では得られない機会の他、コストダウン、他社からの推薦、新たなコミュニティ、トレードや出向などの可能性、広告効果の向上、複数社を同時に知れる、等の効果を明瞭に分析されていました。

後半のグループワークでは「自社のコミュニティ」をキーワードに、採用や教育、社員間のコミュニケーションについて意見交換しました。不確実・不明瞭なこの VUCA 時代を生きていくためのヒントを、コミュニティ、生の声を集める、トライアンドエラーといった西村さんの気づきから、より学びを深める良い機会になったのではないでしょうか。

寄稿：森 勝彦さん
（NPO 法人家族支援フォーラム／松山支部第２地区会）

松山支部第３地区会11月リアル例会

利益を出し続ける企業＝「労使見解」の実践企業

～ 故・田山謙堂氏（元・中同協会長）例会動画から学ぶ「労使見解」～【第２弾】

【トークディスカッション】
米田 順哉 氏　NPO 法人家族支援フォーラム 理事長／愛媛同友会 代表理事
石原 公彦 氏　Keystone Bar 代表／愛媛同友会 松山支部第３地区会 幹事
川﨑 暁子 氏　㈱エルパティオ 代表取締役／愛媛同友会 理事･松山支部第３地区会 副地区会長

◆ 日　時：11 月 15 日（火）18：30 ～ 21：00
◆ 会　場：二番町ホール
◆ 参加者：18 名

故 田山謙堂さん

２か月にわたって「故・田山講堂氏から学ぶ労使見解」をテーマに開催した第３地区会の例会。10 月はそもそも「労使見解とは？」について、「経営姿勢の確立」「対等な労使関係」を学びましたが、11 月は「事例に学ぶ」ということでより具体的に労使見解を紐解くことができました。

今月は特に、「経営指針の成文化」をテーマに、座長の杉本さんの和やかな進行のもと、米田さん、石原さん、私がそれぞれに事例をお話する形式で会を進めました。

「経営指針を成文化」することはとても大切ですが、それ以上に大切なのは「経営指針を誰とつくるか」ではないでしょうか？

「対等な労使関係」を実践しようとすれば、当然ながら「労使」の間には信頼関係がなければ成立しません。そして、信頼関係のないところに「契約」はありえないのです。田山氏が何もないところから「経営指針」を作り上げる過程で、「いかに社員に信頼されていない自分であったか、いかに独りよがりで経営をしていたか」に気づいたというお話を伺って、自身を振り返り、今後の「自身の在り方」を考える機会をいただきました。

米田さんからは、会社の未来について社員と徹底的に話し合い、ひとつずつ目標を立てて全社をあげて実施していった結果、危機を乗り切ったお話、石原さんからは、一人親方ではあるが、関わってくれる方に「夢・ビジョン」をみせて巻き込んでいくお話を伺いました。弊社は、経営指針をやっと社員とつくりはじめた段階ではあるが、社員たちも自分たち自身の困っていたことを解決するんだという使命に気づいたというお話をしました。

「経営は子育てに似ている」。これはわたしが常日頃感じていることですが、どこまで社員を信頼できるか。そして「信頼する」とは「裏切られてもいい覚悟で信じ切る」ことだということを２か月連続の「労使見解」の学びの中で深く感じさせてもらいました。社員に信頼してもらう前に、まず経営者自身が社員を信頼することが大切なのですね。

今回は久しぶりの「リアルのみ」の例会にこだわり、参加者の方との交流を楽しみながら、途中には、会場内の社員の立場の参加者に会社内のことを聞く、といった時間もあり、「労使」双方の立場から「労使見解」を考える例会になりました。

寄稿者：川﨑 暁子さん
（㈱エルパティオ／松山支部第３地区会）

四国中央支部 11月ハイブリッド例会

経営指針を実践するために

～ ツールとしてのＤＸ ～

左から有岡さん、実弟で四国中央支部幹事の有岡修平さん、座長の大村英幸さん

◆ 報告者：**有岡 康介** 氏
三有研器㈱代表取締役社長／香川同友会 理事・共同求人委員会委員長
◆ 日　時：11 月 17 日（木）18：30 ～ 21：00
◆ 会　場：ホテルグランフォーレ・Zoom
◆ 参加者：13 名

動画を観て意見交換

有岡さんがデジタル化に着手したのは 2016 年からになります。先代の頃から勤めていたベテラン社員の退職がきっかけになります。引継ぎがほぼない状態で、あるのは当人しかわからないエクセルデータと図面の束があるだけ。一つの案件を調べるのに数時間はかかっていたと振り返ります。そこで案件管理ソフトを自社用に作成しました。目的は「営業業務を効率化する」「属人化を防ぐ」になります。それにより重複する入力作業が無くなりました。図面や過去履歴など、情報を探す手間が無くなりました。担当営業しかできないことが減り事務員さんの活躍の場が広がりました。

もうひとつの実例として、情報の社内共有と外部発信を組み合わせたシステムを紹介して頂きました。営業が持ち帰った情報の記録を手書き日報からバックログ（アプリ）に変更、その情報から顧客の課題解決サイト「工業用刃物なび」内の記事を作成。顧客にメルマガをお送り、サイトへの案内を行うというもの。サイト内の情報は集客に繋がり、また社員教育にも生かされています。集まった改善事例や商品情報は毎週のミーティングで社内共有されています。

有岡さんがデジタル化を行うにあたり気を付けているのは「手段を目的と勘違いしてしまってはないか」という事。前述の「営業業務の効率化」という目的も、より大きな目的の手段となる。その大きな目的とは理念、ビジョンであるとの事。

大小様々な目的と手段がある中、最終的にデジタル化により成しえたい事は「人間らしく豊かに暮らせる職場」を作る事と有岡さんは仰いました。機械（システム）が得意なことは機械にしてもらう。人が行うことも、簡単に、わかりやすくすることで、習得もはやくできる。空いた時間を「豊かなくらし」に繋げるために使おう。

DX により課題解決するだけに止まらない。事前にできた時間の活用を考えておく。これが大事なことなのではないかと感じました。その時間で何をするかで会社の個性が決まると私は思います。利益追求のために実務面を進めてもいいし、楽しい職場づくりのため交流の時間にしてもいい。理想の会社に近づくため、何をしてもいいのです。

寄稿：有岡 修平さん（三有研器㈱／四国中央支部）

今治支部＆環境経営委員会 合同ハイブリッド例会

脱炭素！木質バイオマスによるエネルギーの地産地消

～ 愛媛県内子町からの挑戦 ～

◆ 報告者：**内藤 昌典** 氏
㈲内藤鋼業 代表取締役／愛媛同友会 理事・南予支部幹事長
◆ 日　時：11 月 21 日（月）18：30 ～ 21：00
◆ 会　場：テクスポート今治・Zoom
◆ 参加者：41 名

報告者の内藤さん

今月は今治支部と環境経営委員会が合同で行う初の例会。報告者は内藤鋼業の内藤昌典さん。内子町における「木質バイオマス発電」の取り組みをご報告いただきました。

内子町の木質バイオマス発電は、今まで使われておらず山に残されていた材木「未利用木」を山から出し、それをペレット化し、ガス化させ、最新のガスエンジンを回して電気を起こす仕組みです。なんと内子町全 7,000 世帯の 45％に相当する量の電気を、この木質バイオマス発電で賄っています。

この取り組みにより「未利用木」が高値で取引されるようになり、林業を中心として地域に仕事が生まれるようになりました。そしてエネルギーを地域で地産地消するようになったため、もともと海外に流出していたエネルギーコストが、地域に循環するようになりました。なんとその額年間４億円！最近創業を開始した第二発電所「内子龍王バイオマス発電所」により、さらに年間 2.6 億円の経済効果が見込まれています。

内子バイオマス発電所は、全国でも最先端の「エネルギーの地産地消」の成功事例なのです。

そんな内藤さんからの驚くべき報告の後は「ワールドカフェ」というワークショップ。今回の例会は先端事例の報告なので、同友会員だけではなく、さまざまな方の参加がありました。金融機関、市役所職員、森林組合など多様な人たちが、それぞれの立場で意見を交換し有意義な場となりました。

報告の最後に内藤さんが語っていた「今後の夢」の話が印象的でした。それは、木質バイオマス発電をさらに進めることにより、内子町を「電気代ゼロの町」にすること。それにより内子に住みたい人や企業を増やし、地域を元気にすること。発電事業を通じ本業を活性化しただけでなく、本業を通じて地域の活性化を真剣に夢見る内藤さんに、あるべき中小企業経営者の姿を垣間見た気がしました。

寄稿：菊間 彰さん
（一般社団法人をかしや／今治支部）

伊予・松前支部 11月ハイブリッド例会

M&Aで老舗洋菓子会社と一緒になりました。

～ やってみて気づいた M&A の理想と現実。社員と乗り切った数々の想定外 ～

◆ 報告者：**中野 恵太** 氏
㈱薄墨羊羹 代表取締役 / 愛媛同友会 伊予・松前支部幹事
◆ 日　時：11 月 18 日（金）18：30 ～ 21：00
◆ 会　場：一番町ホール・Zoom
◆ 参加者：29 名

報告者の中野さん（左）と座長の今村暢秀さん

伊予松前支部 11 月例会は、株式会社薄墨羊羹 代表取締役の中野恵太さんに例会報告をして頂きました。地元松山の銘菓薄墨羊羹、創業から 150 年以上続く伝統のある和菓子です。この数年コロナ禍で売上が減少しこのままではダメだこの現状を乗り切らなければと思っていた時に、銀行から M&Aのお話をいただき今後の会社の未来のことも考え M&A を決断したそうです。お相手は、地元の老舗洋菓子店ベティクロッカーズで、和菓子と洋菓子の融合によるシナジー効果と新たなチャレンジができると胸を躍らせました。

ここで最近よく聞く M&Aについて少しご説明します。株式買収と事業買収があり、お互いの話し合いの上で決めるそうです。「株式買収」会社ごとの収益が分かる。再取得が難しい許認可なども引き継ぐことができるなど。「事業買収」帳簿等１社として処理ができ、会社の維持のためのコストがかからない。１部の譲渡が可能。売り手に潜在債権や訴訟があってもリスクを下げられるなど。中野さんは、事業買収を選択されこの１年様々な出来事に直面しました。

買収すれば双方の社員さんも安心するだろうと思っていたのに、企業風土の違いで問題が発生し、職人さんの離職や仕事の役割分担でのトラブル、重なるクレーム。店舗数が多くなり目が行き届きにくくなって不満が出る。その度に胃が痛くなり、M＆Aを後悔したこともあったそうです。中野さんは、自分の覚悟と配慮が足りなかったと１つ１つの問題に真摯に向き合い解決していく中で、社員さん同士の歩調が合い始めて良い方向に進んでいき、やれることが増え社員さんが生き生きと働いてくれるようになったとおっしゃっていました。

これからの目標はベティクロッカーズをもっと地元の皆様に親しんでもらえる洋菓子のブランド価値を高めていく。そのために多店舗展開や移動販売車の準備をしています。５年先 10 年先に M&Aして本当に良かったと思えるように地元のファンを増やしていきたいとお話しくださいました。皆様もお近くにお越しの際はお立ち寄りくださいね！

最後に M&Aをする際に同友会の田中代表理事に相談して、的確なアドバイスをもらいスムーズに話が出来たと喜んでいました。改めて同友会は、学び先輩から教えていただける良い会だと思いました。

寄稿：八束 和志さん
（㈱ヤツヅカ／伊予・松前支部）

「同友会で俳友会」特別企画 第２回 吟行句会ライブ開催！

◆ 日　時：11 月 27 日（日）９：00 ～ 12：00
◆ 会　場：子規記念博物館、道後公園、道後商店街
◆ 参加者：15 名

前日の雨に心配しながらも良い天気に恵まれ開催された『第２回吟行句会ライブ』。今回は道後公園周辺が舞台、会員並びにその関係者含め 15 名が参加しました。

子規記念博物館に集合後、まずは講評いただく高須賀真美子さんと会員の髙橋大輔さんから「簡単な俳句の作り方講座」と題して講義いただきました。作り方の例題を出していただきながら、イメージを膨らませて吟行スタートです。

簡単な俳句の作り方講座

子規記念博物館や道後公園、遠くは石手寺まで足を運んで各自吟行を楽しみました。道後公園はイチョウやモミジなどが赤や黄色に色づき、子供たちの元気な声が飛び交うなど参加者はそれぞれに一句また一句とひねっていきます。

投句は１人３句まで。その中から高須賀さんと髙橋さんが１人１句ずつ計 12 句をライブ用に選出。出揃ったところでまずは参加者が自分の句以外の感想を出し合い、引き出したその句の良さを皆さんで共有してから優秀作品を決定。１人３票、良いと思った句に投票していきます。

投票の結果、第２回吟行句会ライブの優秀賞に選ばれた句は……12 票を獲得

「松の木の斜めに立ちて冬日和」

株式会社フェローシステムの利用者さんの二宮真緒さんでした。二宮さんの他の２句もとても秀逸で、さすがといった結果でした。二宮さん本当におめでとうございました！

子規記念博物館に俳句ポストが設置されていることもあり、今回の句をそれぞれ応募して第２回吟行句会ライブは終了しました。参加された皆さん、楽しい時間を本当にありがとうございました。

優秀賞の二宮真緒さん

松の木の斜めに立ちて冬日和

まっすぐに伸びる松の木もあれば、地形や風雨の環境によって斜めに伸びる松の木もあります。中七の「立ちて」との措辞により、松の木が自立している様子が感じ取れます。置かれた環境で精いっぱい生きている「松の木」の逞しさを感じます。季語「冬日和」は良く晴れた冬の穏やかなひと日を表します。一定の時間経過を含む季語を使うことにより、今日という穏やかな日を過ごす作者と、長らくそこに斜めに自立している松の木との、共鳴が生まれています。

講評：髙橋 大輔さん（広報情報化委員）

寄稿：武田 正輝さん
（恭栄自動車㈱／伊予・松前支部）

紅葉が始まっていました

吟行句会ライブに参加した皆さん

松山DX勉強会（松山市中小企業振興円卓会議事業）参加者レポート

◆ 日　時：6月22日～11月29日（全6講座）
◆ 会　場：サイボウズ松山オフィス
◆ 参加者：142名（6講座の合計）
◆ 担　当：愛媛県中小企業家同友会政策委員会

DX（デジタルトランスフォーメーション）の勉強会を今年の6月から11月にかけて月1回、計6回（基礎編3回・応用編3回）、愛媛デジタルデータソリューション協会の協力を得て、サイボウズ松山オフィスで行ないました。勉強会は来年度も行う予定です。

松山市で貸おしぼり業を創業してから48年が経ちました。おしぼりを飲食店やホテルに納品し、来店されたお客様におもてなしのツールとして提供したあとは、その使用済みを自社に持ち帰り、洗濯・検品・包装を経て、再び配達するといったリユース型事業をしています。私たちのデジタルの状況といえば、2005年に販売管理ソフトを導入してから17年間同じソフトを使い続けており、納品書は手書きのまま。事務と社員間の伝達手段は電話と備忘録という伝言ノートのみというアナログ的なやり方をしています。このやり方ではミスが発生してしまい混乱することが度々ありましたので、これをどうにかデジタル化しミスをなくしたいという思いがきっかけで松山DX勉強会に参加することに決めました。

勉強会が始まり感じたことは、デジタル化してミスをなくし、効率をあげるような技術的な勉強会ではなく、どちらかというと、企業の理念、ビジョン、ミッションの目的を明確にしていき、その目的を達成するためにはどのようなデジタルツールを選択し、それらをどう活用したのかという実践事例を話されていたことが印象的でした。

私は最初、DXとは「デジタル化にすること」がゴールだと考えていましたが、この勉強会を通じて「地域・社員・お客様が幸せなること」がDXの真のゴールだと気付かされました。現在、DXの新事業としてすすめている「AIおしぼり納品予測」や「LEDビジョン広告動画製作」の真の目的を再確認して、皆様の幸せに貢献していけるような企業になろうと決意しました。

寄稿：上田 剛士さん
（㈲キホク／松山支部第3地区会）

DXで生産性や業務効率を向上、DXで働き方改革をしよう、などなど、「DXで○○」が急速に進んでいるのがここ数年の現状。

「自社でもDXを導入して！」と思っている方は非常に多いのではないかと。私も「DXを検討…」と思ったこともあります。しかし頭の中は「DXってそもそも何？」「高価なPCを購入してビッグデーターをAIで活用して売上を上げるシステムを構築して…」のような漠然としたイメージしか持ってないレベル。

松山DX勉強会を知った時は難しい事を勉強するのかな？とか思いましたが、「今すぐ何かしなくても知識を得るだけでも会社のためにはなるかな」と思いエントリーしました。

『ビッグデーターの使い方とは…』『システムを作るためにはこんな技術が…』『AIを動かすためにはこんなプログラミングが…』といった、ものすごく難しい講義内容なのかなーと思っていましたが、実際は、紙媒体主流の完全アナログで非効率を繰り返していた作業を少しでも効率よくするために経営者自らやってみせて体験させて少しずつ導入していったという苦労話等の事例を聞きました。

DXのスタートとは「自社の事業をもう一度見直してみること」。DXの本質とは「自社の事業の定義を書き換える事」。

「デジタルの価値が上がればアナログの価値は下がる」のではなく、「デジタルの価値が上がった以上にアナログの価値は上がっていく」という事。DXをすすめることによって人は現在やっているアナログなことをもっと工夫しもっと考えて運用を始める。そしてそこには必ず人と人の交流があるとの学びがありました。

ただ、コロナ禍でDXやテレワークが急速に進んだことにより、人と人の関りが希薄になりコミュニケーション不足といった問題が増加していることも忘れてはいけないし改善しなくてはならない事だと思います。

最後は私のひとり言。コミュニケーション不足の課題解決は、「ダイオーズのコーヒーを飲みながら雑談」がいいのではないでしょうか。

寄稿：鎌田 大輔さん
（㈱ダイオーズ四国／松山支部第3地区会）

二幸送風機株式会社
REALIZE TWO HAPPINESS
私達は、「風の匠」として、常にファン技術の可能性に挑戦し、
社員の希望とお客様の感動のふたつの幸せを実現できる会社創りをめざします。
本社・工場　〒791-8022　089-925-6401
愛媛県松山市美沢二丁目3-7　089-925-6259
社員、顧客のふたつの幸せを実現する企業を目指して　http://www.nikofan.com/

こだわりのじゃこ天
しののめ 東雲かまぼこ
無添加じゃこてん
その一、宇和海・瀬戸の新鮮な魚を使用
その二、添加物を使用していません。無添加！
その三、天然岩塩使用
〒790-0004
愛媛県松山市大街道3丁目7-4
（松山城ロープウェイ乗り場斜め前）
TEL・FAX：089-935-8622
HPアドレス：http://umajaco.jp

愛媛同友会『会員名簿』アプリ 活用のお願い

愛媛県中小企業家同友会では会員同士のコミュニケーションを促すとともに会の活性化を目指し、「会員名簿アプリ」を導入しました。ぜひインストールしていただき、積極的にご活用をお願いします。（スマホ・タブレット・パソコン端末）
今後、会内の公式の連絡の遣り取りは名簿アプリに集約していきたいと考えております。

愛媛県中小企業家同友会「会員名簿アプリ」の機能

- 名簿閲覧 検索
- 個人・グループ チャット
- スケジュール (e.doyu)
- 無料 電話

簡単インストール！　スマホ・タブレット・パソコン端末から！

iOS iPhone
App Store からダウンロード

Android
Google Play で手に入れよう

PC 版（ブラウザ）
https://web.doyumeibo.jp/#/

初回のログインに、e.doyu と同様の ID とパスワードの入力が必要です。お分かりにならない場合は事務局までお問い合わせください。

マニュアルダウンロードはこちらのURLページの一番下から。
http://ehime.doyu.jp/news/details/detail.php?news=778

もしくは
こちらの QR コードを読み込みますと**マニュアルのダウンロードが始まります。**

名簿アプリの**使い方勉強会動画**はこちら

お問い合わせ　愛媛県中小企業家同友会 事務局　TEL 089-948-9920　E-mail info@ehime.doyu.jp

同友会で俳友会

あけましておめでとうございます。今年も生活の中に俳句のある、潤いのある日々を楽しんでいきましょう。

◆最優秀賞

コロナ明け赤道直下で初日の出

石川 義和さん（㈲石川工作所）

ウィズコロナの時代になり、ようやく海外にも出かけられるようになりました。モルディブでしょうかインドネシアでしょうか「赤道直下」との措辞が読み手の想像を膨らませます。「初日の出」は新年の季語で、日本では寒中で拝む肌感覚があります。掲句は「赤道直下」なので、常夏の国で初日の出を拝んでいる様子がうかがえます。外国で過ごすお正月のシーンを上手く切り取りました。

◇特別賞（お正月は特別で賞）

初詣後のファミレスまでセット

小西 淳志さん（㈲キホク）

初詣のお参りの後に、ファミレスで食事をすることが我が家の恒例行事です。この日はいつもより高いメニューも選んで良いことになっています。

◇特別賞（幸せで賞）

数の子やしっかり幸を噛みしめて

二宮 真緒さん（㈱フェローシステム）

数の子のプチプチとした食感は、「幸を噛みしめている」という作者の感覚が素敵です。今年もこうしてお正月を迎えられる幸せを、数の子を通して実感しているのです。

◇特別賞（願いは叶うで賞）

初詣願いは変わらずもう三十路

今井 裕也さん（東温市役所）

物心ついたころから変わらずに、毎年同じことを初詣で祈願しています。気が付けばもう三十歳になりました。

二月号 兼題

「春近し」「冬三日月（ふゆみかづき）」「霜焼（しもやけ）」「寒鴉（かんがらす）（かんあ）」「梅」

三月号 兼題

「風光る」「春一番」「風船」「蒲公英（たんぽぽ）」「初蝶」

いずれの兼題で投句下さっても構いません。また、兼題に拘らず自由に詠んでいただいても構いません。

講評：髙橋 大輔さん（広報情報化委員）

2月 投句QR

締切1月15日

3月 投句QR

締切2月15日

左から中 篤史さん、浅川 信介さん

最優秀賞の石川義和さんには、表彰状と㈱ナカフードサービス（中篤史さん：松山支部第2地区会、浅川信介さん：松山支部第3地区会）のステキな賞品を差し上げます。

「地域の味と食材を守り、食卓に笑顔を届けたい」のコンセプトの下、ナカフードサービスが老舗牛丼専門店三河家（松山市本町）とタッグを組み、昨年より販売を開始した「三河家監修冷凍牛丼の具」です。

ふるさと納税サイトや通販専門サイトBASEなどで販売しておられます。

【冷凍牛丼の具×3袋＋おまけ（間もなく販売開始予定の新商品1袋】

ICTの知識や技術を活用し、お客様の夢をかなえます。

WEBサイト制作・運用・保守
セキュリティ運用・関連商品導入
システム開発・サーバ構築
ネットワークインフラ構築・電話設備
各種機器販売

株式会社ディースピリット
〒791-1102 愛媛県松山市来住町1430番地1
TEL：089-948-4100 FAX:089-948-4101

Wonderful Communication
www.e-itoman.jp
For Wonderful Life
Itoman

新入会員のご紹介【1名】（11月15日～12月15日）

武田 陽子さん（たけだ　ようこ）

松山支部第1地区会
㈲日新商会 取締役
塗料・塗装機器の卸売業
〒791-8044　松山市西垣生町802-12
ＴＥＬ：089-971-6633　ＦＡＸ：089-973-4118
紹介者：二幸送風機㈱　山口 光俊

共に学ぶ仲間をご紹介ください!!

愛媛同友会は“仲間づくり運動”を推進しています。

共に学ぶ仲間を増やすには、会員の皆さんからのご紹介が欠かせません。
「経営者を一人ぼっちにしない」「会員は互いの辞書の１ページ」。コロナ禍や物価高騰など、問題山積の時代だからこそ、百人百様の異なる経営体験を互いに学び合うことで、「良い会社」「良い経営者」「良い経営環境」を目指しましょう。
お知り合いに同友会で共に学びたい方はいらっしゃいませんか？
ぜひ、愛媛同友会事務局まで、ご紹介ください！

【ご紹介はこちらまで！】

愛媛同友会事務局
TEL：089-948-9920　メール：info@ehime.doyu.jp
※メールの方は件名に【ゲスト紹介】とお付けください！

2022年度 愛媛同友会 第７回理事会 議事録

【日時】2022 年 11 月 24 日（木）18：30 ～ 20：30 【会場】二番町ホール・Zoom
【出席】理事 26 名 委任２通 事務局員３名 【議長】三好 大助 【議事録】藤原 里穂

出席数・委任数の確認について …… 事務局

開会挨拶：田中 正志

承認事項

（1）入退会承認

報告事項

（1）第 11 回経営フォーラムの進捗について

チラシを PDF データで周知いただき、各支部・地区会、委員会と連携して気運を高め、参加目標の達成を目指す。

（2）第 39 回総会の会場等について

日程は、5 月 23 日㈫に決定。年明け 1 月頃から、例年通り総会案内を FAX にて行う予定。

（3）正副代表理事会議、各支部・委員会等からの報告

①求人教育委員会：合同入社式・新入社員研修の案内
2 月 24 日㈮に従来とは異なる企画での合同入社式を開催予定。事前勉強会も行うので、是非参加を。

②広報情報化委員会：報道懇談会の案内
2022 年度名刺広告代の未請求についてのお詫び。報道懇談会については、リアル開催。

③政 策 委 員 会

④事 務 局：1働き方の現状について
2竹河内博之さんの紹介

⑤その他、支部・地区会や委員会から
平野環境経営委員長：中同協「環境経営・エネルギーシフト・SDGs」に関するアンケートの提出の再依頼。

（4）全国・他団体行事について

①四国ブロック役員・支部長交流会 in 高知「あしたの役員交流会」参加者から一言感想

②中同協・情報化推進本部＆情報化 DX セミナー

（5）2022 年度方針の総括レーダーチャートの一次集約

協議事項

●今後の理事会のあり方に関する協議

正副代表理事会議から提案：「EDOR 判定理事会について」

活発な議論が繰り広げられ、三好議長により下記のように締めくくられた。結論としては、継続審議とする。

三好議長：現在行われている判定会議は参加する顔ぶれによって、中身が変わる。他業種が集まって議論を交わすことが“正しい報告”にするためには必要。その場として、理事会でやってみるのはどうかという提案だと理解する。3ヵ月に 1 回というスパンで、特別な学びの場をつくりだすということ。しかし、特に判定会議に参加したことがない方など判断がつかない人もいる。まずは、従来の協議事項の 1 つとして愛媛大学の曽我教授を招いて判定会議の結果を用いて共有するなど、理事会の場でしてみてはどうか。そのうえで、判定会議を理事会ですべきか否かの議論を。正副代表理事会議でも引き続き検討していく。

閉会挨拶：米田 順哉

究極の挑戦者

麺屋十銭

昔ながらの尾道中華そば

〒790-0004　愛媛県松山市大街道２丁目３－１５
携帯　０９０－１１７０－１８６０

ALTERATION & CLEANERS

清水屋クリーニング

私たちが考える良いワイシャツとは、
エリが綺麗なこと。
着心地がしなやかでハリがあること。
清潔でいられること。

E-mail shimizu@infomadonna.ne.jp
〒790-0053 愛媛県松山市竹原４丁目 8-47
TEL 089-941-7388
FAX 089-947-2833

矢野質店

有限会社矢野商事（矢野質店）

住所:松山市花園町2番地3　電話:089-941-4044

Issei Group
いっせいグループ
グループ店

愛彩館
愛大附属病院内
089-955-2008

花笑み茶屋
旧空港通り
089-968-6836

嬢の蔵
HIMENOKURA
089-947-6817

haco.
朝生田店
089-935-8558

ぶらぶらあるき
宮田町
089-933-6716

夢にえがお

奇跡のトリカワ横丁
平和通り　089-994-6656

弁護士法人 たいよう

四国の躍進は地域企業と法律家の連携で

愛媛県弁護士会所属　代表弁護士／吉村紀行

愛媛県　松山事務所　☎089-907-5601
愛媛県　大洲事務所　☎0893-59-0353

リース車両メンテから、愛車の「困った」、点検まで

トータル・カーメンテナンス
恭栄自動車株式会社

松山市空港通1丁目8-2 〒790-0054
TEL 089-972-1228(代)
FAX 089-971-4419

保険調剤・ヘルスケア

平野薬局グループ

株式会社　平　野

エコアクション21

〒794-0028　今治市北宝来町2丁目2-22
TEL　(0898) 32 - 0255
FAX　(0898) 32 - 0350

税理士法人
asitao
（あしたお）

― 明日を拓くパートナー ―

安部　真 ／ 井上　徳之 ／ 近藤　壮 ／ 十河　篤史

〒790-0066　愛媛県松山市宮田町 186 番地４　松山駅前ビル２F
TEL：089-948-8294　FAX：089-948-8296

企業の未来を築くのは、人

人事を核としたトータルな経営支援サービスを通じ
職場の安心（労務管理）と企業の未来を支えます

社会保険労務士法人　横本事務所

〒791－3120　愛媛県伊予郡松前町 1350-6
TEL　089-984-2078　FAX　089-984-8533
URL　http://www.humanity.co.jp

～人の一生を支えられる企業になりたい～

社団法人　日本義肢協会会員
＝義肢・補装具・車椅子・補助杖・その他福祉関連商品＝

有限会社　オルソ本田

オルソ本田
ORTHO HONDA

〒７９０－０９４７
松山市市坪南丁目４番２４号
ＴＥＬ（０８９）９５８－６６１７
ＦＡＸ（０８９）９５８－６６４１
E-mail:ortho@abelia.ocn.ne.jp
http://ortho-honda.com/

消防・防災の専門商社
株式会社 岩本商会

災害に強いまちづくりをお手伝いします

本社　松山市大手町一丁目 10 番地 1
TEL089-947-2111　FAX089-947-2116
高松支店/宇和島営業所/姫原倉庫
https://www.iwamotosyoukai.co.jp

お住まい相談員って何をしてくれるの？
1 希望に合った施設をお選びします。
2 施設への連絡や見学予約、日程調整も。
3 施設見学にも同行します。
※ご希望や状況によりご相談

ウチシルベなら
入居まで無料でお手伝い。
高齢者の住宅・老人ホームをお探しなら
ウチシルベ松山
高齢者住宅仲介センター
フリーコール0120-951-705
松山市中村2丁目1-3
三福住まいの体感プラザ内

家族支援フォーラム
地域生活支援センター
夢ポケット
公式ホームページ
〒791-8012 松山市姫原2丁目3-21　089（924）8989

MOVE YOUR HEART!
服部製紙株式会社
HATTORI PAPER MFG. Co.,Ltd.
〒799-0112　愛媛県四国中央市金生町山田井171ー1
TEL0896-58-3005　FAX0896-58-3306
http://www.hattoripaper.co.jp

ENEOS
ENEOS 株式会社特約店
～灯油・軽油・A 重油の配達もお任せください～
日興石油株式会社

本社 中の川SS	松山市湊町4丁目1番地2	089(931)3221
三番町SS	松山市三番町6丁目4ー17	089(941)7685
カーフォート かもがわSS	松山市鴨川2丁目17ー1	089(978)1616
和気SS	松山市和気町1丁目473ー1	089(979)2044
配送センター	松山市空港通4丁目3ー39	089(972)1002

ハト飛来防止用忌避剤
「ハートジェル」販売・施工代理店
株式会社トータル・ビル・サービス
松山市松前町 2 丁目 8 ー 3
TEL 089-946-3255
ハト飛来防止用忌避剤
ハートジェル
Pigeon Evasion Jell
HATO JELL
ハトの被害に頭を抱えていませんか？「ハートジェル」はハトの習性を研究して完成した、ハトを傷つけずに追い払う特殊ジェルの忌避剤です。テスト施工無料。
※器具やネット等の取り付けと違い、建物の美観を損ないません。
※効果は 1 年以上持続し、添付面を汚染することもありません。
お気軽にお問い合わせください。

環境と未来を考えるシステムの包装商社
株式会社 パステムマツザワ

本社	〒791-8507	松山市久万ノ台695番地1	TEL 089-925-7811
中央市場営業所	〒791-8016	松山市久万ノ台348番地1	TEL 089-924-3380
宇和営業所	〒797-0045	愛媛県西予市宇和町坂戸542-4	TEL 0894-62-8980
新居浜営業所	〒792-0872	新居浜市垣生3丁目310-11	TEL 0897-67-1788
広島営業所	〒733-0804	広島市西区山手町17-3	TEL 082-235-1003
高知営業所	〒780-8040	高知市神田971-1	TEL 088-833-3433
徳島営業所	〒771-0204	徳島県板野郡北島町鯛浜字川久保200-1	TEL 088-698-1585
香川営業所	〒761-2403	丸亀市綾歌町岡田西1081番地18	TEL 0877-35-7010
バックマート久万/台店	〒791-8016	松山市久万ノ台684-1	TEL 089-924-2475

和洋菓子製造
株式会社 世起
愛媛県伊予郡松前町北川原 1240-1
TEL089-984-6658

よりよいくらしの想いをかたちに
共同購入・宅配・店舗・福祉・共済・旅行・プレイガイド
コープえひめ
本部/松山市朝生田町 3-1-12
TEL (089)931-5201
http://www.coopehime.or.jp

あったかい味
お届けします
株式会社 ナカ フードサービス
NAKA FOOD SERVICE
松山市大可賀2丁目2-12　☎952-1156